

まだまだ間に合う弱点の克服

茗溪塾塾長 長谷 誠基

新型コロナの感染者数も大分減少し、現在は落ち着いた数字が続いています。何とかこの状況が続いてくれることを願うばかりですが、今年はインフルエンザの流行も心配されています。受験生の皆さんは体調の管理に気を付けて下さい。塾のほうでも引き続き感染症対策は継続して行っています。

11月になり、公立中学の中3生は大事な定期試験が目前になっています。大学受験でも総合型選抜や学校推薦型選抜が行われ、少しずつ合格の報告も聞かれるようになってきました。模擬試験の成績や過去問の結果もいくつか出ていて、あと2か月しかないのにこれで大丈夫なのだろうか？という不安に襲われている受験生、保護者の方も多いと思います。頑張っているのになかなか合格ラインに届かない、順位が上がらない…。もしかしたら、勉強のやり方が間違っているのでは？という気持ちにもなってきます。考えてみれば、ほとんどの受験生は今の時期は勉強に集中し、みんなが頑張ってきています。その中で成績を上げるということは実は非常に難しいことです。また、過去問の点数も11月の段階では合格点が取れないことも多いと思います。そこでここからの学習のポイントをいくつか挙げてみたいと思います。

①年内は弱点の克服を意識して学習する

模擬試験や過去問で見つかった弱点単元は必ずできるようにしましょう。特に知識分野の場合は徹底して暗記することによって、すぐに点数を上げることが可能です。またその単元が全然わからない場合は、過去に使ったテキストでもう一度やり直してみてください。当然先生にも質問して理解に努めましょう。

②暗記はノートまとめよりもテストを繰り返して覚える

ノートにまとめると何となく勉強した気持ちになりますが、本当に覚えているかはあやしいものです。それよりも、単元ごとにテストをしてできなかったところを覚えるほうが効率的です。アウトプットを意識した勉強を心がけるといいでしょう。

③最後に大きく成績を伸ばすのは結局やり直し勉強です

今の自分ができなかった問題ができるようになれば当然成績は上がります。考えてもなかなか解けない入試問題にあたっている今は、1つの理解が大きな成果を生むことも多くあります。時間がないと焦る気持ちはわかりますが、1つ1つの理解を大事にしていきましょう。本番まで1日1つの「できた」をつくっていけばいいのです。

子どもたちの時間は大人よりも体感時間が長いものです。思った以上にやれることはあります。がんばりましょう。